



園長だより

NO.41 R6. 3. 11 (Mon)

少し前のインスタでもアップさせて頂きましたか

担任の先生がお天気が良かったので

外では食べた!!

「今日は、シートで遠足気分みたいに外で食べる」と

でもまだ1月おと寒さか...

提案すると、「行く! 行く!」と「え〜 暑」と意見が真逆に!!

そこで互いに「プチ子ども会議」でメリット・デメリットを子ども達に

外は「空が見えて気持ちいい」「でも寒い...」

それぞれに子ども達

中は「暖かい」「でも、外の方が気持ちいい...」

に、いかり貴見が

という事で、まとまらなかったため、互いを尊重し遊戯室

あり、それを主張する

の外と中で食べました。私が嬉しかったのは、担任

るんさすはね: それも

が決して強要せず、常に子ども主体で、

偉いな〜と!

子どもの想いを尊重する保育をしてきている事。外で食べた子も、

中で食べた子も、大満足でそれはそれはいい表情でした。

私達大人って(親って)つい、大人の自分達の都合で行動してしまいがちでは...

例えば上記の様な場合、片づけに手間がかかってしま

から簡易的な方法を推奨し、「これでいいかな」としてしまいがち

かな〜として意見の分離においても、子ども達のそれぞれの想い、

感覚を、そのままにせず、ちゃ〜んと引き出し、そこから導かれた

結果を、民主的かつ平等に皆が納得するように結論に到達し、

方向を見出ししていく、それは正に、今よく学校教育の現場で

耳にする、アクティブラーニング。子ども一人ひとりが受け身ではなく

自ら能動的に学びに何らかう姿勢ですよね。

何気ない日常の保育の一場面ですが、こんな経験の積み重ね

の積み重ねが「生きる力」数字で測れない力、非認知能力

の育みに直結していくんだな〜と、大満足でランチタイムを過ご

していた子ども達の溢れる笑顔を嬉しく見守りつつ実感しました。

~~~~~

もうひとつ! 春の訪れと共に、泥あそびも盛んな昨今の志都呂

幼稚園。自分達で裸足になって靴を脱いで、

その中にちゃ〜んと靴下を入れて、(色々な様に)

友達とお山づくり! 「水、持って来て!」「いいよ!」

と... お山に土を盛る係、お山をチビトン

ならし、ツルツルにする係、水を運ぶ係、トンネル

を掘る係、互いに自分の役割・居場所、必要性を察知し、

遊びの中でしっかり「社会」が成り立っていきます。「あ〜泥つい

ちゃった!」「ま、いいか! 着替えればね。」と子ども達にとての

困難やアクシデントも自分達で解決します。

子ども達のお日様より輝いている笑顔が、「遊びは学び」で

ある事を証明してくれます。そして哲学者ロバートフルガムの

言葉、「人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ」

の名言、改めて納得させられました。

とは言え、真冬や極寒の中でも結構平気で泥あそび。やる子は、やるんですけどね!

今朝の光景は